

平成28年度しまねっこ元気アップカーニバル

開催校の紹介

学校行事としての全校活動を原則として、異学年・同学年の友達と一緒に15種目の「しまねっこ！元気アッププログラム」の中から数種目を選択し、音楽に合わせて踊ったり記録の向上を目指して挑戦したりした学校の紹介です。このカーニバルをきっかけとして、仲間と交流しながら運動することの喜びを味わい、運動に対する愛好的な態度や体力を高めていこうとする輪が広がっていくことを期待しています。

なお、カーニバル開催校には株式会社ローソンの協力により運動用具等が贈られました。

第17回	<p>雲南市立加茂小学校 全校児童299名 開催日：2月8日（水）</p> <p>初めに「しまねっこ！元気アップダンス」を体の動きに合わせた掛け声を出しながら全校で踊り、「どじょうすくい3種目柔軟運動」で体をほぐし、「蟠竜湖連続二重跳び」や「高津川清流ジャンプ」など、縄跳びのいろいろな跳び方に挑戦しました。途中、6年生による「ダブルダッチ」の紹介があり、後半は、この「ダブルダッチ」や「松江城！忍者8の字とび」「奥いずもおろちみんなでジャンプ」など3つの場で6年生が縄を回すなか、全校児童が各自チャレンジしたい種目の場所に行って積極的に挑戦していききました。</p>
------	---



第16回	<p>松江市立母衣小学校 全校児童467名 開催日：2月8日（水）</p> <p>全校「縄跳び集会」に合わせ、大勢の保護者の方がギャラリーから見守る中、各自が選んだ級に挑戦する「リズム縄跳び」検定に続いて、学級対抗で「松江城！忍者8の字とび」が行われました。「かぶりなわ」「むかえなわの」の両方にチャレンジしてその跳んだ合計数で競い合い、1分間で100回を超えるチームも複数見られました。日頃の練習の成果を発揮した友だちのレベルの高さに感心したり、チームの記録達成に向けて学級で声をそろえて応援し、大歓声で喜び合ったりする場面がいくつも生まれました。</p>
------	--



第15回	<p>浜田市立長浜小学校 全校児童240名 開催日：1月19日（木）</p> <p>授業公開日であるこの日、大勢の保護者さんに元気いっぱいの様子を見てもらう機会となりました。一斉に「しまねっこ！元気アップダンス」を行い、異学年縦割り班や学年ごとで「松江城！忍者8の字とび」「島根県民思いやりの対面パス」に挑戦していききました。対面パスでは、女子ミニバスクラブが先生チームと対決する場面もあり、大いに盛り上がりました。高学年になると学級で円陣を組んで気持ちを高め、記録更新につなげたチームが続出しました。応援や歓声が飛び交い、仲間との連帯感が高まった時間となりました。</p>
------	--



第14回 浜田市立原井小学校 全校児童212名
 開催日：12月16日（金）

日頃の業間運動の成果を発揮する場として、8つの運動種目のコーナーをそれぞれ担当の先生が受け持たれ、全校で編成された30の縦割り班がローテーションにより各班4つの種目に取り組みました。当日、悪天候のため、一部当初計画していた外での種目は行えなかったのですが、高学年のリードにより全校児童が楽しく挑戦し続けました。体育館ではボールを使った3つの運動を中心にを行い、教室・廊下では縄跳び運動や逆立ち運動、柔軟運動などで記録に挑みました。皆の頑張りに校舎内には大きな歓声が響き渡っていました。



第13回 益田市立真砂小学校 全校児童14名
 開催日：11月30日（水）

まず5分間の「江の川マラソン」を行い、体育館2周で100mとカウントし、各自が自分のマラソンカードに記録を付け足していきました。その後、「隠岐の牛突き壁突きパス」と「高津川清流ジャンプ」に挑戦しました。「壁突きパス」は、上級生が下級生の取りやすい位置を考えてボールを出し、声をかけ合いながらパスをつなげていきました。「清流ジャンプ」は、先生方が回し手となり、円陣を組んで気合を入れたチーム7名ずつが一斉にタイミングを合わせて跳び続け、これまでの自己記録を大きく更新し盛り上がりました。



第12回 大田市立川合小学校 全校児童75名
 開催日：11月29日（火）

準備運動として音楽に合わせて「エビカニクス」を踊り、学年縦割りの「なかよし組」で「島根県民思いやりの対面パス」「松江城！忍者8の字とび」「奥いずもおろちみんなでジャンプ」に挑戦しました。お互いに励ましの声を掛け合い、楽しみながら記録更新を目指しました。特に1年生にとっては、上級生の助言や補助を受けながら普段あまり経験することのない大人数での挑戦や応援の雰囲気の中で、各自の上達ぶりが目に付きました。一人一人が達成感を味わい、学校全体の仲間意識の向上にもつながったようでした。



第 11 回 **大田市立仁摩小学校 全校児童 168 名**
開催日：11月29日（火）
 開催日 2 週間前から縦割り班で練習を繰り返し、本番を迎えました。「どじょうすくい 3 種目柔軟運動」「島根県民思いやりの対面パス」「松江城！忍者 8 の字とび」の 3 種目を合計 9 チームに分かれての挑戦でした。本番はもとより、練習の時からボール操作の苦手な友達に配慮したり、縄跳びを跳ぶ順番を考えたり、励まし合ったり作戦を工夫したりする様子が見られました。柔軟運動で高得点を獲得した仲間には大きな称賛の声が上がりました。運動不足になりがちな冬の時期において今後の運動への意欲が高まる機会となりました。



第 10 回 **邑南町立市木小学校 全校児童 21 名**
開催日：11月8日（火）
 全校児童、体育館で「しまねっ子！元気アップダンス」を踊った後、雨が降りそうな肌寒い曇り空のもと、校庭に出て、平素から取り組んでいる「江の川マラソン」の成果を試す場として校内ロードレース大会が行われました。通行する車の交通整理の協力を駐在所に仰ぎながら、保護者をはじめ、大勢の地域の方々の応援を受けつつ、高・中・低学年別に校庭を出発し、学校付近の道路を駆け抜けました。子どもどうしても励まし合う声が大きく響き渡り、全員が元気に完走し、終了後は次回開催に向けての意欲的な表情が伺えました。



第 9 回 **松江市立玉湯小学校 全校児童 350 名**
開催日：10月27日（木）
 毎月 2 回実施している縦割り班活動「体づくりにチャレンジ」の一環として、校舎内の各教室で様々な運動遊びを行うとともに、体育館では「奥いずもおろち みんなでジャンプ」や「松江城！忍者 8 の字とび」「水産浜田とびうおキャッチ」などの種目に取り組みました。学年差によりボール操作の技能に大きな差が見られる班もありましたが、上級生のリーダーが声をかけながら、記録の伸びを目指しました。地元ケーブルテレビ局が子どもたちの活躍の様子を取材に来てくれ、たくさんの笑顔がカメラに撮られました。



第8回 大田市立北三瓶小学校 全校児童16名
開催日：10月18日（火）

上級生のリードのもと、全校16人が気持ちを一つに記録更新に向けて頑張りました。まず「しまねっ子！元気アップダンス」に続いての「松江城！忍者8の字とび」で、初めは長縄跳びがなかなか続きませんでした。高学年が低学年と手をつなぎ縄に入るタイミングをつかむなど、励まし合いながら繰り返すうち、最高記録がうまれみんな大喜びでした。「島根県民思いやりの対面パス」や「水産浜田とびうおキャッチ」では、チームで声を合わせながらボールを受け渡し、慣れ親しみながら技能が高まっていく様子が見られました。



第7回 雲南市立鍋山小学校 全校児童52名
開催日：10月12日（水）

「しまねっ子！元気アップダンス」を全校で踊った後、異学年のなかよし班で「島根県民思いやりの対面パス」と「松江城！忍者8の字とび」に挑戦しました。今回は今年度2回目の開催で、どのチームも声を掛け合いながら頑張る続け、各チーム、前回の記録をぬりかえました。

今回の結果は、後日「元気アップ新聞」として、校内に県内他校の記録ランキングと共に示されました。これを励みに今後も休み時間等を通じて積極的に元気アッププログラムに挑戦する取組が続いています。



第6回 安来市立広瀬小学校 全校児童243名
開催日：9月23日（金）

児童会の運営により全校児童一斉にラジオ体操で体を慣らし、学年縦割りの「なかよし班」によるスポーツ交流が行われました。前半「松江城！忍者8の字とび」に挑戦する班と「島根県民思いやりの対面パス」に挑戦する班に分かれ、後半はその逆に挑戦するという形で進みました。不慣れな低学年に高学年が優しく言葉をかけながら、全20班、それぞれパスや縄跳びの回数を数え、担当の先生と共に盛り上がりました。地元のケーブルテレビの取材もあり、カメラの前で張り切る子どもたちの姿がたくさん見られました。



第5回 飯南町立赤名小学校 全校児童64名
開催日：6月15日（水）

はじめに6年生のリードにより「さんぽ」の曲に合わせたフォークダンスを班ごとに練習し、全校で円くなり笑顔いっぱいに踊りました。次に「どじょうすくい3種目柔軟運動」を行い、その結果は上級生が記録をつけてまとめました。その後、「松江城！忍者8の字とび」につながる「長縄くぐり抜け」に挑戦しました。長縄の両端を担当の先生が上げ下げし、二人組でタイミングよく順々に走り抜けました。最後は5・6年生が両方向から入っていく連続8の字跳びを披露し、今後の活動に向けてみんなの意欲が高まりました。



第4回 海士町立福井小学校 全校児童51名
開催日：6月10日（金）

普段「パワーアップタイム」として毎日実施している業間運動の成果を発揮する場として開催されました。6班の縦割り班で「しまねっ子！元気アップダンス」を踊り、その後上級生がリードしながら「宍道湖一周 一輪車の旅」「江の川マラソン」を含めた本校独自の運動プログラム「ふくいっ子元気アップチャレンジ」に、ローテーションで挑戦していきました。竹馬やタイヤ跳び、鉄棒、雲梯など各自が取り組んだ結果は、6年生がチャレンジカードにまとめて記録し、今後につなげていこうとする様子が見られました。



第3回 吉賀町立柿木小学校 全校児童65名
開催日：6月3日（金）

準備運動で「しまねっ子！元気アップダンス」を踊った後、縦割り班で「松江城！忍者8の字とび」「島根県民思いやりの対面パス」「高津川清流長縄ジャンプ」が行われました。普段、業間運動で練習している成果を発揮しようと各自が目標をもって取り組んでいました。その後、引き続き校庭に移り、気持ちのよい青空のもと、持久走大会が開催され、学年ごとに「江の川マラソン」に挑戦しました。この日は、地元ケーブルテレビの取材や自由参観日ということもあり、大勢の保護者の方の応援を受けながら、汗をしっかりとこいで意欲的に挑み続ける子どもたちの姿が多く見られました。



第 2 回	<p>奥出雲町立鳥上小学校 全校児童38名 開催日：5月25日（水）</p> <p>児童会体育委員会の司会・進行で、「どじょうすくい3種目柔軟体操」「出雲ドームブリッジ」などで体をほぐし、なかよし班対抗で「島根県民思いやりの対面パス」「高津川清流長縄ジャンプ」を競い合いました。対面パスは、相手のことを考えたボールの速さや高さを意識して投げる練習をしてきたそうです。長縄は、今年度初めて行ったにもかかわらず、どの班も10回以上跳ぶことができ、歓声が上がりました。最後に踊った「しまねっ子！元気アップダンス」も楽しそうでした。</p>	
-------------	---	---

第 1 回	<p>出雲市内全小学校6年生 （出雲市小学校陸上大会） 開催日：5月19日（木）</p> <p>出雲市内の6年生全員（複式学級の5年生を含む）総勢約1,700人が、68学級の対抗戦で、浜山公園陸上競技場にて、「松江城！忍者8の字とび」に挑戦しました。みんなこの日のために練習を重ね、記録更新をめざしてがんばりました。競技場には、チームごとに息の合った掛け声が響き渡り、観客席からは多くの保護者の皆さんから温かい拍手が贈られました。</p> <p>今回は、1分間で最高146回という記録が生まれました。</p>	
-------------	---	--